

平成29年11月議会 教育厚生委員会資料

請願第5号

長崎市社会福祉会館の早期建替えを求める請願について

関係資料

目 次

1. 請願第5号に対する見解…………… 1
2. 入居団体の概要…………… 3

福 祉 部

平成29年11月

1 請願第5号に対する見解

請願項目 1. 平成22年の検討会報告書を踏まえ、社会福祉会館の建替えを早期に実施すること。

<要旨>

長崎市社会福祉会館は、施設の老朽化が著しく、耐震構造の建物となっていないことに加え、高齢者や身体が不自由な方が利用しているにもかかわらず、エレベーターやスロープの設置もなく、利用者にとって大変不自由な施設となっている。平成22年に設置された「長崎市社会福祉会館建替え検討会」の報告書においても、建替えの必要性等が示され、早急な整備が必要であるとされているが、具体的な対応がなされていない。建替えを早期に実現してほしい。

<見解>

長崎市社会福祉会館は、現在、土地及び建物を長崎市が所有し、社会福祉法人長崎市社会福祉協議会をはじめとする福祉関係団体が入居し、当該団体の諸活動を支える事務所として利用されており、行政と連携を図りながら地域福祉の向上と発展に努めている。

施設は、昭和33年の建築後59年が経過し、施設の老朽化が著しいうえに耐震構造にもなっていない。

また、高齢者の利用が多いにも関わらず、エレベーターの設置がなく、会議室が4階にあるため、階段の昇降時に危険であることなど利用者にとって大変不便な施設となっていることから、過去にも入居している5団体から建替えの要望書が提出されていた。

このような状況を踏まえ、平成22年に設置した「長崎市社会福祉会館建替え検討会」で検討を行い、平成22年12月20日に提出された報告書において、「建替えの必要性」「建替え場所」「建替えの方向性」「会館の機能」が示されている。

検討会の報告を受け、長崎市としても庁内会議を開催し、社会福祉会館の建替えが必要との判断を行ったが、時期や場所、機能や規模、財源や事業手法等の建替え方針については、市庁舎を含む大型公共施設の建替え等の計画が進んでいたため、その進捗を見ながら判断することとしていた。

今般、市庁舎等の大型公共施設についても一定の方向性が固まって来たため、長崎市としても建替えの具体的方針について改めて検討する時期に来ていると考えている。

請願項目 2. 建替えに当たっては、新市庁舎との往来が容易な場所を早急に確保すること。

<要旨>

入居団体については、行政と連携を図りながら地域福祉の向上と発展に努めているため、団体の活動事務所である社会福祉会館については、新市庁舎の近隣に設置してほしい。

<見解>

入居団体等とは地域福祉等の行政課題を連携して進める必要があることや多くの地域福祉団体及び関係者が施設を利用することから、市庁舎の近隣で交通アクセスなど利便性の高い場所にあることが望ましいが、具体的な建設場所については、庁内の関係部局や入居団体等とも協議を行い、今後、検討してまいりたい。

請願項目 3. 具体的な計画を策定し、実施状況を公表していくこと。

<要旨>

建替えに当たっては、会館の機能・必要な設備等について具体的な計画を策定し、内容や進捗状況を公表してほしい。

<見解>

今後、新たな社会福祉会館への建替えについて、改めて場所を含め機能や規模、財源や事業手法、スケジュール等について庁内の関係部局や入居団体等と協議を行い、方針等を整理する必要があると考えている。

建替え方針等の内容を整理した上で、議会や入居団体をはじめ関係者へご説明したい。

2 入居団体の概要

団体名、代表者	設立目的	活動内容
社会福祉法人 長崎市社会福祉協議会 (会長 西崎 武博)	地域住民の参加と支えあいによる福祉のまちづくりを実現するために、住民やボランティア、市民団体の方々など地域の福祉関係者とともに地域福祉活動を中心に様々な活動をする社会福祉法人。	<ul style="list-style-type: none"> ・基盤整備 ・地域福祉活動推進 ・ボランティアへの支援・育成 ・広報、啓発活動 ・子育て支援 ・相談支援事業 ・在宅福祉サービス事業
一般社団法人 ひとり親家庭福祉会ながさき (理事長 福地 照子)	長崎市内におけるひとり親家庭及び寡婦福祉事業の組織的活動と、能率的運営を促進し、ひとり親家庭及び寡婦福祉の増進を図るとともに、地域社会の福祉に貢献することを目的とした法人。	<ul style="list-style-type: none"> ・母子家庭等日常生活支援事業 ・市民プール内の食堂運営 ・市立保育所の調理業務 ・三和地区子育て支援センター運営 ・相談事業
長崎市老人クラブ連合会 (会長 金富 竹志)	会員相互の親睦を図り、「健康・友愛・奉仕」を基本として、生活を豊かにする活動及び地域を豊かにする社会貢献活動に取り組み、健康で生きがいのある生活の実現と高齢者の保健福祉の健全な発展に寄与することを目的とした任意団体。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢期をともに生きる仲間づくり活動 ・心とからだの健康づくり活動 ・相互に支え合う友愛活動 ・地域社会に貢献する奉仕・ボランティア活動 ・すべての実践の基礎となる学習活動 ・その他目的を達成するために必要な活動
長崎市民生委員児童委員協議会 (会長 辻郷 國昭)	民生委員・児童委員が、職務の遂行を円滑にし、資質の向上を図るための研修や、職務の統制、相互連絡並びに関係行政機関との連絡調整を行うことを目的として組織された、長崎市内49地区に置かれている各地区民生委員・児童委員協議会から構成される任意団体。	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の生活状態を必要に応じ適切に把握 ・生活に関する相談に応じ、助言その他の援助 ・福祉サービスを適切に利用するために必要な情報の提供、その他の援助 ・社会福祉事業者と密接に連携し、その事業又は活動を支援 ・福祉事務所その他の関係行政機関の業務に協力 ・その他、住民の福祉の増進を図るための活動
長崎市老人福祉施設協議会 (会長 堤 祐敬)	老人福祉及び介護に関する正しい知識の普及並びに理解の促進を図るとともに、サービスの質の向上確保に係る調査研究を行い、もって老人福祉及び介護事業の健全な発展と国民の福祉の増進に寄与することを目的とする任意団体。	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉施設等の経営、運営に関する調査・研究 ・研修会の開催 ・関係機関・団体との連絡調整等

